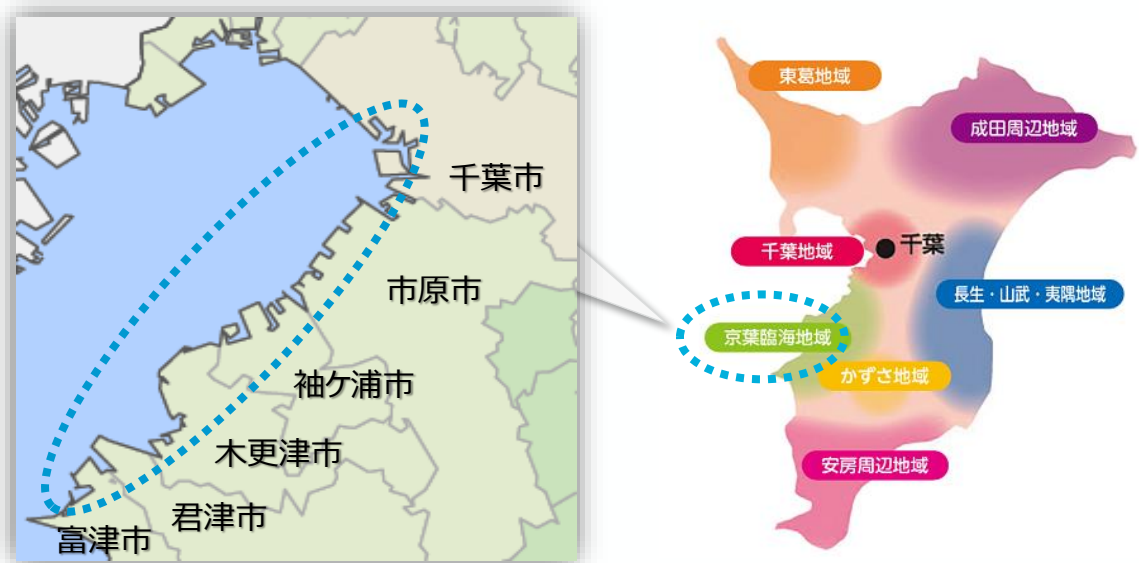


千葉県：京葉臨海コンビナート



エリア・周辺の詳細

- 所在地：千葉市から富津市までの6市にわたる区域
- 総面積：約5,000ha
- 周辺の主要産業：化学工業、石油製品製造業、鉄鋼業、電気業、ガス業
- 周辺エリアの人口：156.6万人

インフラ

- 工業用水：1,021,760m³/日
- 上水道：1,430,470m³/日
- 送配電線
 - 特別高圧：施設済
 - 高圧：施設済

全体構想

事業目的・事業概要

日本最大級の京葉臨海コンビナートにおいて、素材・エネルギー産業等の集積や、革新的な技術開発のポテンシャルを最大限活かし、新たなGX産業の集積拠点として、新たなGX事業を次々と生み出し、コンビナート全体の産業を高度化させることで、経済成長とCO2排出削減の同時実現を目指すGXを推進する。

自治体による支援策・取組

①新たなGX産業の創出、②投資・制度環境の整備、③事業環境・インフラの整備、④企業、関係機関等との連携によるプロジェクト推進体制の構築

注力領域

素材・エネルギー産業領域

参画プレイヤー

- 出光興産(株)、AGC(株)、大阪国際石油精製(株)、コスモ石油(株)、JFEスチール(株)、(株)JERA、住友化学(株)、東京ガス(株)、日本製鉄(株)、富士石油(株)、丸善石油化学(株)、三井化学(株)、TREホールディングス(株)、首都圏CCS(株)、岩谷産業(株)、JFEエンジニアリング(株)、(株)三井住友銀行、(株)みずほ銀行、(株)千葉銀行

※参画プレイヤーは、京葉臨海コンビナートGX推進会議の会員企業等

参考資料リンク

- <https://www.pref.chiba.lg.jp/sanshin/keiyo-rinkai/gx-suishinkaigi/index.html>

連絡先

千葉県商工労働部カーボンニュートラル推進課コンビナート脱炭素化推進室
メール：kombinat@mz.pref.chiba.lg.jp 電話番号：043-223-2747

神奈川県川崎市：川崎臨海部エリア



エリア・周辺の詳細

- ・ 所在地：神奈川県川崎市扇島、南渡田町、水江町、扇町、池上町ほか
- ・ 総面積：約2,800ha（うち大規模土地利用転換エリア：約400ha）
- ・ 入居可能時期：2027年度末以降（段階的開発を予定）
- ・ 周辺の主要産業：石油・化学、エネルギー、港湾物流、鉄鋼
- ・ 周辺エリアの人口：川崎市全体（156万1,800人（令和8年4月1日時点））
川崎臨海部の就業人口（約7万1,000人）

インフラ

- （川崎臨海部全体）工業用水：37万m³/日（給水量）、発電能力900万kW超（大規模土地利用転換エリア内）
- ・ JFEスチール(株)の構内発電施設19万kW、国内屈指の大水深バース(最大22m)
 - ・ 立地企業の需要を踏まえ、水道、電気その他産業インフラを整備予定
 - ・ BRT導入検討（南渡田）や首都高湾岸線出入口整備（扇島）など交通アクセス性の更なる向上も推進

全体構想

事業目的

日本の成長戦略を担い、世界と戦える次世代GX産業の創出を目指す。

事業概要

JFEスチール(株)製鉄所跡地である扇島地区等の大規模土地利用転換エリアを中心に、首都圏GX化の起点となる産業集積を図るとともに、既存資産も有効活用のうえ、GX化を支えるインフラ整備や社会実装に必要な機能整備によってバリューチェーンを構築し、世界で戦える次世代GX産業を創出する。

自治体による支援策・取組

- ①南渡田地区：世界でも稀有な、研究開発から試作・量産まで一気通貫のグローバルスケールアップ拠点を形成
- ②扇島地区：広大な敷地と、陸海空の結節点機能を活かした災害に強い「首都圏最大級の次世代GX産業集積拠点」を整備
- ③その他川崎臨海部（池上町・扇町・水江町地区他）：首都圏に近接したコンビナートにふさわしい資源循環の実現及び川崎臨海部/首都圏への水素やクリーンエネルギーの供給

参画プレイヤー

- JFEホールディングス株式会社
- 川崎臨海部GX戦略推進コンソーシアム（拠点運営のコーディネート企業、金融機関等）など

参考資料リンク

- 川崎市HP(大規模土地利用転換) <https://www.city.kawasaki.jp/590/page/0000151320.html>
- ヒューリックHP(南渡田関係) <https://minamiwatarida.jp/>

連絡先

川崎市 臨海部国際戦略本部 土地利用転換推進部 稲葉・山内
メール：59tochiten@city.Kawasaki.jp 、電話番号：044-200-2056

将来ビジョン

日本の成長戦略を担い、世界と戦える次世代GX産業の創出を目指す

取組
の柱

- ・ 世界でも稀有な、一気通貫のグローバルスケールアップ拠点の形成
- ・ あらゆる戦略分野の集積も可能とする次世代GX産業集積拠点の形成
- ・ 首都圏のGX化の起点となる広域ネットワークの構築

土地利用転換エリアの地区ごとのポテンシャルを活かした取組の推進

南渡田地区 (52ha)

土地利用の先鞭として、
「GXスケールアップ拠点」を整備

- 取組 1 第 I 期地区として大規模R&D拠点の整備 **事業中**
- 取組 2 既設工場建物を活用したスケールアップ拠点の整備、産業インフラ整備
- 取組 3 拠点運営を担う運営法人設立・エコシステムの形成
- 取組 4 拠点の機能拡張、都市基盤整備等

扇島地区 (280ha)

広大な敷地と立地優位性を高めるインフラを活かし「首都圏最大級の次世代GX産業集積拠点」を整備

- 取組 1 次世代GX産業を支えるインフラとして液化水素受入・供給拠点、高度物流、港湾物流拠点等を整備 **事業中**
- 取組 2 脱炭素と日本の成長に繋がる、あらゆる戦略分野に関連した次世代GX産業の立地誘導
- 取組 3 次世代GX産業の立地に向け大型構造物・インフラを段階的に撤去し、広大な産業用地を整備

その他川崎臨海部 (池上町・扇町・水江町地区他)

首都圏に近接したコンビナートにふさわしい資源循環の実現

- 取組 廃プラスチックなどの資源循環の高度化

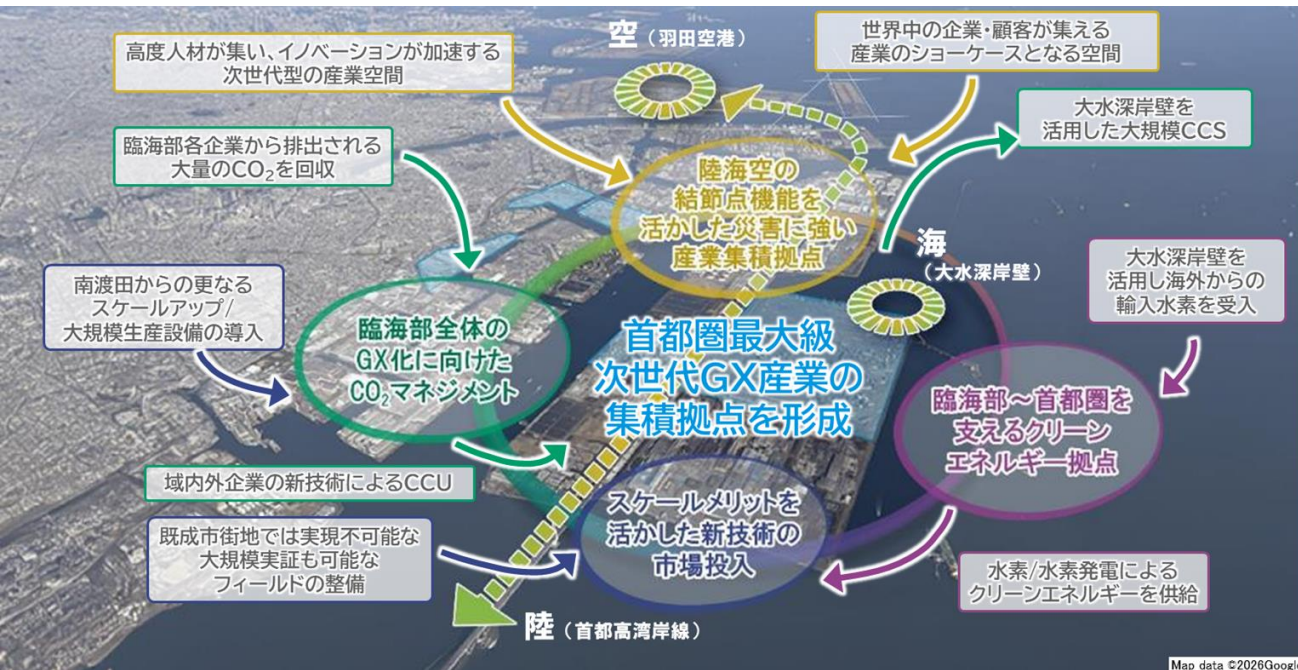
川崎臨海部/首都圏への水素やクリーンエネルギーの供給

- 取組 次世代GX産業の創出、クリーンエネルギー供給等における水素の利活用

扇島地区 - 将来ビジョンと取組 -

- 扇島地区では、広大な敷地を活用し、**日本の成長を牽引する、大規模な次世代GX産業集積拠点の形成**をコンセプトに、既存構造物を段階的に撤去しながら、次世代インフラの導入や地理的ポテンシャルの活用により、**次代の柱となるあらゆる戦略分野のGX産業の集積**に向けて取組の検討及び企業誘致活動を推進

扇島地区の将来ビジョン(イメージ図)



次世代GX産業の方向性

次世代GX産業

- **カーボンニュートラルの実現** ■ **日本の成長の牽引** につながる
次代の柱となるあらゆる戦略分野のGX産業を扇島に集積

次世代インフラ

製鉄所設備の有効活用と次世代インフラの導入で、次世代GX産業を支えるインフラを構築

GX・エネルギーインフラ

水素、グリーン発電 等

デジタルインフラ

AIインフラに不可欠な
データセンター

モビリティインフラ

道路、大水深岸壁
高度物流・港湾物流

イノベーションインフラ

オープンスペース(実証
フィールド)、交流施設等

防災インフラ

災害時はフェーズフリーで防災拠点機能を発揮し、首都圏の安全確保に寄与

地理的ポテンシャル

- 約280ha、**首都圏随一の広大かつ転換可能な工業地帯**
- 首都高、京浜3港、羽田空港を至近で利用できる**陸海空の充実した物流網**
- 川崎臨海部には**化学・エネルギー産業が集積**
- 周辺には、南渡田、殿町、新川崎など**多くの研究開発拠点が集積**

南渡田地区 - 将来ビジョンと取組 -

- 南渡田地区では、素材産業における**研究開発から試作・量産まで一気通貫のスケールアップ拠点の形成**をコンセプトに、取組の検討及び企業誘致活動を実施
- **南地区の既存工場建屋を有効活用**することで、R&D拠点の研究成果を**迅速にスケールアップできる拠点を整備**するとともに、活用困難な資産の解体撤去、開発も進め、量産機能も含めて段階的に拠点機能を拡張整備

南渡田地区の将来ビジョン(イメージ図)

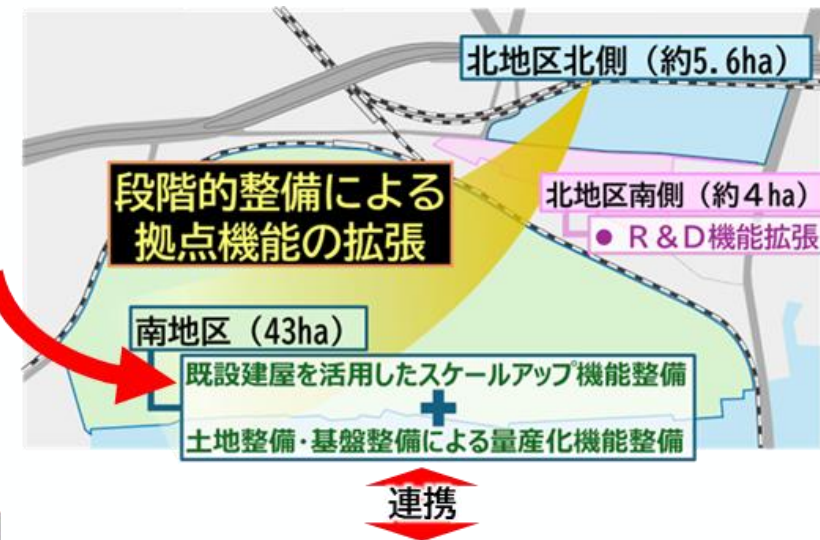


段階的な拠点整備



南地区の既設工場建屋群

スケールアップ・社会実装の確度を高めるため、国内外のプラットフォームやインキュベーターとの連携について調整中



兵庫県：播磨臨海地域および神戸地域



エリア・周辺の詳細

- ・所在地：播磨臨海地域および神戸地域
- ・周辺の主要産業：
＜播磨臨海地域＞ 製造業（素材化学、鉄鋼、重工、電機、蓄電池等）
＜神戸地域＞ バイオ・ライフサイエンス、グリーンテック、デジタル等
- ・周辺エリアの人口：約270万人
(神戸市、姫路市、高砂市、加古川市、播磨町、明石市の計、令和7年1月1日時点)

インフラ

- ・姫路港、東播磨港、神戸港のほか、高速道路網や鉄道といった物流網
- ・大型放射光施設やスーパーコンピューター「富岳」等、高度なR&D関連資源

全体構想

事業目的

全国有数の工業地帯であり、素材産業等の国際競争力を有する企業が複数立地する播磨臨海地域と、スタートアップ支援の枠組みが充実する神戸地域との地域間連携を中心に、①経済安全保障、②エネルギー安全保障、③イノベーションの3軸をもとに、世界で勝てる産業横断のGX新産業クラスターを構築・拡張

事業概要

- ① 化石燃料由来の素材からグリーンで国内調達可能な素材利用へ切り替え、付加価値を高めて世界市場での競争力を強化
- ② 多様なエネルギー関連インフラの構築で、産業活動の原動力を脱炭素エネルギーへ移行
- ③ スタートアップの創出、育成や革新的技術を持つスタートアップの誘致、既存企業との協働等によるスケールアップ

自治体による支援策・取組

産業立地条例による設備導入支援などの県施策により地域産業のGX転換を一層促進

関係者

- ・関係企業 約25社 ・金融機関 ・大学等関係機関
- ・市町 ・商工会議所

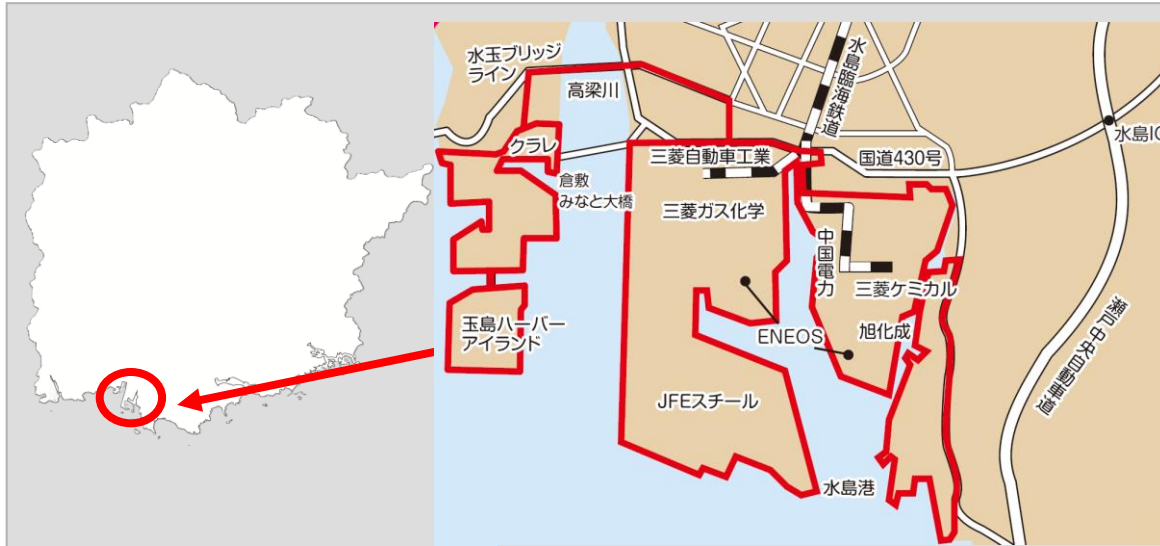
参考資料リンク

- ・兵庫県ホームページ（GX戦略地域（コンビナート等再生型）の有望地域への選定）
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr07/press/20260424.html>

連絡先

兵庫県庁産業労働部地域経済課経済雇用政策班 伊藤・桑野
メール：chiikikeizai@pref.hyogo.lg.jp、電話番号：078-362-3342

岡山県：水島コンビナート



エリア・周辺の詳細

- ・所在地：岡山県倉敷市
- ・総面積（該当エリアの面積）：2,558ha
- ・周辺の主要産業：鉄鋼業、石油精製業、化学工業、輸送用機器器具製造業
- ・周辺エリアの人口：倉敷市（46万9千人）

インフラ

- ・工業用水：708,000m³/日
- ・上下水道：20,000m³/日以上
- ・送配電線
 - 高圧：施設済

全体構想

事業目的

GXの推進、より厚みのある産業構造への転換により、コンビナートの持続的な発展と、更なる国際競争力強化を図り「世界に勝てる」コンビナートを目指す

事業概要

- ・CCS、CCU、ケミカルリサイクル、革新技術を用いた製鉄プロセス転換等
- ・将来の電力需要増加を見据え、送配電事業者と情報共有を図りながら、GX事業を推進
- ・電力の安定供給に不可欠な、パワーエレクトロニクス産業の誘致

自治体による支援策・取組

総合特区に指定された全国で唯一のコンビナートであり、規制緩和、金融支援（利子補給制度）、各種補助制度による設備投資支援を実施

参画プレイヤー

- 水島コンビナート発展推進協議会
（旭化成㈱、ENEOS㈱、㈱クラレ、JFEスチール㈱、中国電力㈱、三菱ガス化学㈱、三菱ケミカル㈱、三菱自動車工業㈱、㈱日本政策投資銀行、㈱中国銀行、㈱トマト銀行、岡山県、倉敷市、中国経済産業局（オブザーバー））
- パワーエックス㈱（パワーエレクトロニクス関連企業誘致に係るコーディネーター）

参考資料リンク

- ・ 水島臨海工業地帯の現状
<https://www.pref.okayama.jp/page/378041.html>
- ・ 水島コンビナート総合特区の概要
<https://www.pref.okayama.jp/page/774697.html>

連絡先

岡山県庁産業振興課

メール：sangyo@pref.okayama.lg.jp 、電話番号：086-226-7352

構想の概要

水島コンビナートを取り巻く環境

- ・国内の人口減少による国内需要の減少
- ・海外からの安価な製品の供給等による国際競争力の激化
- ・コンビナートの脱炭素化を推進
- ・水素等の脱炭素燃料の受入拠点としての可能性を検討
- ・エチレン製造設備の停止決定
- ・産業構造の転換期
- ・原料の転換

**異なる産業が集積する、水島の強みを活かし、
企業間連携による“産業クラスター”で世界に勝てるコンビナートに！**

～GXの取組を推進～

【CCS】

複数社連携により、各CO2排出源から船舶に積載・出荷するまでのインフラを構築し、コンビナート内で2050年には、640万t/年の世界最大規模のCO2集積クラスターを目指す。

【製鉄プロセス転換】

- ・革新電気炉による高品質な低炭素鋼材の供給を通じ、国内産業の経済成長に貢献
- ・カーボンリサイクル高炉等の超革新技术の開発に注力

【CCU】

- ・製鉄と化学の連携による、副生ガスを活用したメタノール及びプロピレンの製造
- ・企業間連携による、コンクリートをCO2吸収源としたCO2利活用

～厚みのある産業構造へ～

【生産体制最適化と製造プロセスの転換】

- ・エチレン製造設備停止に伴う設備対応
- ・バイオエタノールからエチレン・プロピレンなどのグリーン基礎化学品を製造する初期生産設備を設置

【パワーエレクトロニクス関連企業誘致】

次代の産業基盤を形づくる要である、パワーエレクトロニクス関連企業を誘致し、国内生産体制を増強

(株) パワーエックス (スタートアップ) がコーディネート

【コンテナ型データセンター】

コンテナ型データセンターを整備し、スタートアップと連携した、効率的なGPUの運用を実施

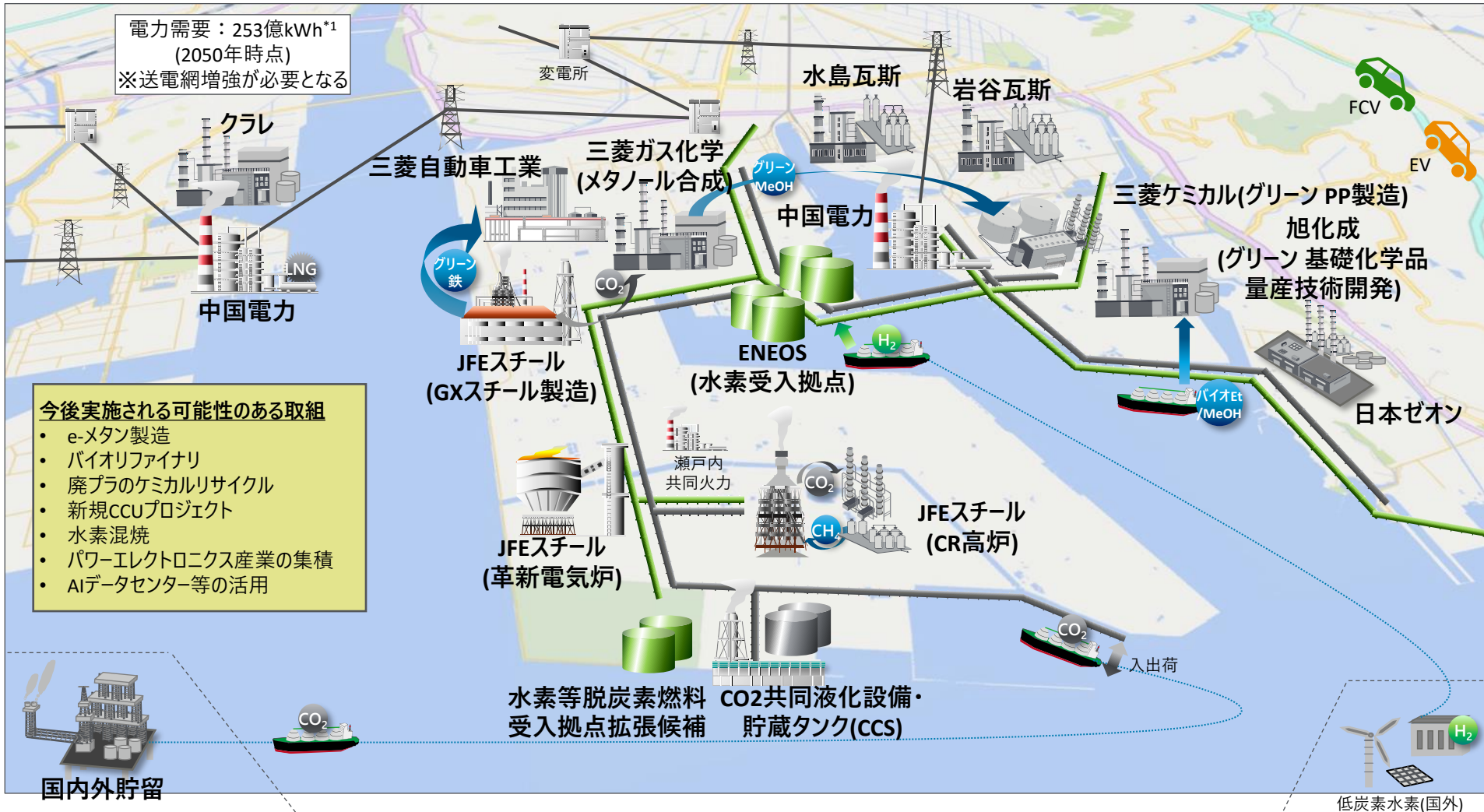
GX等の進展による電力需要増加で、送電網等のインフラ整備の必要性を検討

水島コンビナートの2050年鳥瞰図

2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、各社が様々な取組を実施するとともに、企業間連携も盛んに進められている

To-be像（鳥瞰図整理）

※現時点での取組をベースに、2050年時点の想定状況を整理



水島コンビナート発展推進協議会（H23.6.6設置）

○ 目 的 水島コンビナートの競争力強化の取組を通じてコンビナートの発展を推進する

○ 構成団体 14団体

立地企業8社、金融機関3行、岡山県、倉敷市、中国経済産業局

旭化成（株）、ENEOS（株）、（株）クラレ、J F E スチール（株）、中国電力（株）、三菱ガス化学（株）、三菱ケミカル（株）、三菱自動車工業（株）、（株）日本政策投資銀行、（株）中国銀行、（株）トマト銀行、岡山県、倉敷市、中国経済産業局（オブザーバー）

- 活動内容
- ・コンビナートの競争力強化の推進に関する事
 - ・総合特別区域法第42条の規定に基づく地域活性化総合特別協議会に関する事
 - ・カーボンニュートラルの取組の推進に関する事

総合特区検討WG

規制緩和に向けた提案を検討。 ※月1回ペースでCNK部会と同時開催

カーボンニュートラルネットワーク会議(R4.11.24設置)

○ 活動内容 水島コンビナートのカーボンニュートラルに関する情報共有と課題解決

○ 構成団体 20団体

協議会構成団体+岩谷瓦斯（株）、日本ゼオン（株）、水島ガス（株）、岡山大学、中国地方整備局、（一社）中国経済連合会（オブザーバー）

カーボンニュートラルコンビナート部会（R5.6.20設置）

カーボンニュートラルネットワーク会議構成企業11社、中国経済産業局（オブザーバー）

・カーボンニュートラルの具体的な取組を検討 ※月1回ペースで開催

水素・CCU関連WG

電力関連WG

各種調査、情報共有、課題の検討



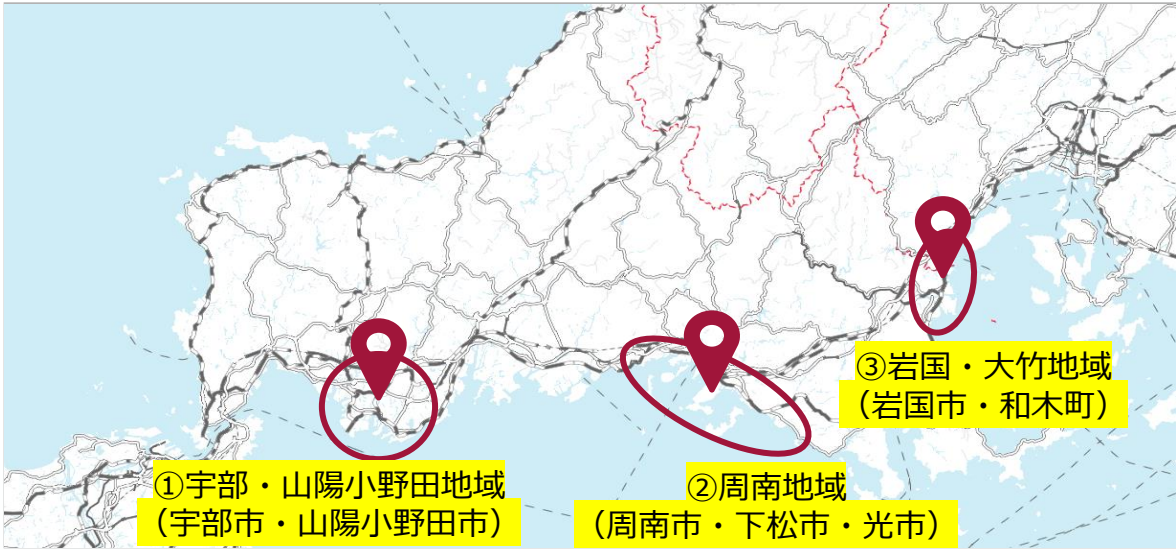
水島港

カーボンニュートラルポート部会（R5.7.10設置）

カーボンニュートラルネットワーク会議20団体、港湾事業者等

・港湾脱炭素計画の作成に向けた協議

山口県：宇部・山陽小野田地域、周南地域、岩国・大竹地域



エリア・周辺の詳細

- ・ 所在地：山口県内の上記7市町ほか
- ・ 総面積（活用可能な面積）：約280ha
- ・ 周辺の主要産業：化学、輸送用機械器具、石油・石炭製品、鉄鋼、窯業
- ・ 周辺エリアの人口：約562千人（3地域計）

インフラ

- ・ 工業用水：契約可能水量
宇部地区（47,700m³/日）
山陽小野田地区（7,830m³/日）
周南地区（11,500m³/日）
岩国地区（相談）
- ・ 上下水道、送配電線：別途お問い合わせください。

全体構想

事業目的

脱炭素時代、そして世界に求められる「エネルギー」や「素材」の供給拠点とGXサプライチェーンの形成

事業概要

- 宇部・山陽小野田地域…アンモニアなどクリーンな原燃料の製造・供給とGX技術・製品の実証・量産フィールドの提供
- 周南地域…CNPの取組と連動した原燃料の大規模転換と供給拠点の形成、エコシップ関連分野への参画
- 岩国・大竹地域…リサイクル素材・燃料の製造・供給とCN燃料の供給を見据えたエネルギーインフラの整備

自治体による支援策・取組

不動産投資ファンドの仕組みを活用し、製造設備やユーティリティ設備、事業用地等をファンドが一元管理。これらをスタートアップ等の事業会社に貸与・供給することで、事業会社側の初期投資や減価償却等の負担軽減を図る。

参画プレイヤー

山口県GX戦略地域推進コンソーシアム
（コンビナート企業、金融機関、大学等45者が参加）

参考資料リンク

- ・ <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/254/334839.html>

連絡先

山口県 産業労働部 産業脱炭素化推進室
メール：a161001@pref.yamaguchi.lg.jp、電話番号：083-933-2474

宇部・山陽小野田地域

クリーンな原燃料の製造・供給、GX技術・製品の実証・量産のためのフィールドの提供により、国内外のスタートアップ等にとって魅力的な新産業育成拠点の形成やGXサプライチェーンの構築を図る。

地域形成に向けた初期構想

凡例:

GX-PJ

基盤整備

中期展開

- アンモニアなどクリーンな原燃料の製造・供給

➤ アンモニア製造・サプライチェーン形成

💡 クリーンアンモニア製造

⚡ LNG転換によるクリーン原燃料供給

🕒 アンモニア誘導品製造

➤ 産業連携・官民連携による資源循環拠点の形成

♻️ ソーティングセンター整備

♻️ タイヤケミカルリサイクル

💡 FAME-バイオ燃料製造

🕒 官民連携資源循環拠点形成

🕒 リサイクル原燃料供給



○ : GX関連事業の実施を検討している範囲

- GX技術・製品の実証・量産のための
フィールドの提供

➤ 遊休地の整備による産業用地の創出

⚡ 実証・量産フィールドの形成

🔧 地盤改良ソリューション

🕒 実証・スケールアップ拠点

周南地域

整備が進むカーボンニュートラルポートの取組と連動した原燃料の大規模な転換によりエネルギー・素材の一大供給拠点を形成するとともに、エコシップ関連分野への参画を進め、GXサプライチェーンの拡張を図る。

地域形成に向けた初期構想 凡例: GX-PJ 基盤整備 中期展開

- **CNPの取組と連動した原燃料の大規模な転換**
 - グリーン燃料供給拠点の形成
 - エネルギー・素材のカーボンニュートラル化

💡 クリーンアンモニア・バイオ燃料：
脱炭素エネルギー供給

🔧 環境事業製品拠点整備

🕒 クリーンNH₃・バイオマス発電：
脱炭素電源活用

🕒 林業活用：
化学品/燃料製造ーバイオマス化学

🕒 廃棄物ソーティング：
資源リサイクルー熱利用LCCN

🕒 CO₂分離回収：
化学品/燃料/CCS



○：GX関連事業の実施を検討している範囲

- **エコシップ関連分野への参画**
 - GX産業サプライチェーン構築・産業団地整備

💡 船舶燃料バンカリング

🔧 船用部品製造拠点整備

🕒 産業団地整備及び機械産業進出

🕒 スタートアップ進出拠点形成

岩国・大竹地域

スタートアップ企業の誘致をきっかけとして、リサイクル素材・燃料の製造・供給を行うとともに、カーボンニュートラル燃料の供給を見据えたエネルギーインフラを整備し、国内有数のケミカルリサイクルやカーボンリサイクルチェーンの形成を図る。

地域形成に向けた初期構想 凡例: GX-PJ 基盤整備 中期展開

- **リサイクル素材・燃料の製造・供給**
- 企業空地・ユーティリティ利用によるスタートアップ進出

🔄 PETケミカルリサイクル
🐎 スタートアップ進出

🕒 域内連携・スケールアップ



- **CN燃料の供給を見据えたエネルギーインフラの整備**
- 共通インフラとしてのガスパイプライン整備及びLNG転換

🔧 LNGパイプライン敷設

💡 設備改造等によるLNG転換

- バイオマス由来CO₂の利用に向けたインフラ整備
及びカーボンリサイクル拠点の形成

🔧 CO₂パイプライン敷設

🕒 カーボンリサイクル燃料供給

- 製紙・石油・化学が融合したスペシャリティ素材の製造

🕒 カーボンリサイクル素材製造

🕒 業種間連携拠点の形成

中期構想によるカーボンニュートラル燃料転換

香川県坂出市：番の州コンビナート



エリア・周辺の詳細

- ・所在地：香川県坂出市番の州町、番の州緑町、川崎町、宇多津町吉田、他
- ・総面積（該当エリアの面積）620ha(120ha)
- ・周辺の主要産業：輸送用機械器具をはじめとする製造業、物流業
- ・周辺エリアの人口：坂出市（約49千人）

インフラ（供給可能時期は可能な場合記す）

- ・工業用水：余裕水量94,494m³/日（令和8年4月1日現在）
供給工事時期は使用量に基づき応相談
- ・上水道：約140m³/日、計画地周囲の状況等により使用可能水量に変動あり
- ・送配電線
 - 特別高圧：施設済、供給工事期間は使用量に基づき応相談
 - 高圧：施設済、供給工事期間は使用量に基づき応相談

全体構想

● 事業目的

立地企業の構造改革を機に、既存の重化学・エネルギー基盤を再定義し「GDX融合型-コンビナート新事業創成モデル for Sakaide-Bannosu」を構築。日本を代表するGX産業の集積地として、経済成長と脱炭素の両立を実現する。

● 事業概要

ブラウンフィールド約120ha以上を活用し、液化水素運搬船建造、国産SAF製造、先端半導体材料等の新産業を創出。地域スタートアップ等と連携したGPUデータセンター（DC）整備により、産業の高度化（DX）を同時に推進する。

● 自治体による支援策・取組

香川県による国内トップクラスの企業誘致助成金（上限50億円）の運用。産官学連携によるデジタル業務の地域人材を育成。NVIDIAや東京大学・松尾豊教授とのアライアンスによるAI活用支援。

● 注力領域

- ・水素地産地消：ターコイズ水素製造と固定炭素利活用による資源循環。
- ・DX-DC連携：地域のGPU-DCやAI関連企業等を活用したマテリアル開発。
- ・大規模SC：海外調達・他港連携による大規模水素サプライチェーンの構築。

- 参画プレイヤー：川崎重工業、コスモ石油、四国化成、四国ガス、三菱ケミカル、ライオンケミカル、YKK AP等

参考資料リンク

- ・ <https://yuchi-100plan.pref.kagawa.lg.jp/useful/useful2/>

連絡先

香川県商工労働部企業立地推進課 和田
メール：kigyoritti@pref.kagawa.lg.jp 、電話番号：087-832-3357

坂出港(番の州コンビナート)の特徴

番の州エリアは、坂出港の中核エリアとして臨海コンビナート+専用岸壁が集積する埋立地で、約620haの土地に重化学・エネルギー系を中心とした大企業が立地し、坂出港取扱貨物の約9割を担う。

番の州エリアの概要

総面積：

約620ha

GX関連事業に活用可能な面積*：

120ha以上

主な立地企業：

- ・ 川崎重工業 坂出造船工場
- ・ コスモ石油 坂出物流基地
- ・ 四国ガス 坂出工場
- ・ 四国電力 坂出発電所
- ・ 三菱ケミカル 香川事業所
- ・ ライオンケミカル オレオケミカル事業所
- ・ YKK AP 四国製造所

大型工場や流通関係企業など合わせて40社超

*：本計画で使用する土地面積+本計画では使用せず残る土地面積



番の州エリアの地理的・産業的特徴

地理：

- ・ 坂出港の中核エリアとして、臨海コンビナート+専用岸壁が集積する埋立地であり、瀬戸大橋を至近に抱える海陸結節点
- ・ 常時波浪が小さく、荒天時も相対的に穏やかな港内条件のため、荷役・入出港の安定運用に寄与
- ・ 坂出市・番の州エリアは交通の結節点になっており、各都市(四国・中国関西)からも比較的短時間で移動が可能



産業：

- ・ 日本を代表する大企業が立地し、専用栈橋が多い臨海コンビナート型の地区
- ・ 取扱貨物は原油・石油製品・石炭・コークスなど、エネルギー・素材系が主で、坂出港の取扱貨物の約9割を担う

これまでの当エリアの用途等：

- ・ 県内の産業構造の改善、人口支持力の拡大を目指し、重化学・大型工場の立地を図るため、工業開発の拠点的基盤として造成

番の州コンビナートのGX新規産業クラスター形成の全体構想

複数の事業モデルが相互に関連するGX新規産業クラスター：「GDX融合型-コンビナート新事業創成 forSB」モデル。

全体構想：産官学連携での人材育成
(デジタル業務の地域人材育成)

GDX融合型-コンビナート新事業創成モデル (for Sakaide-Bannosu)

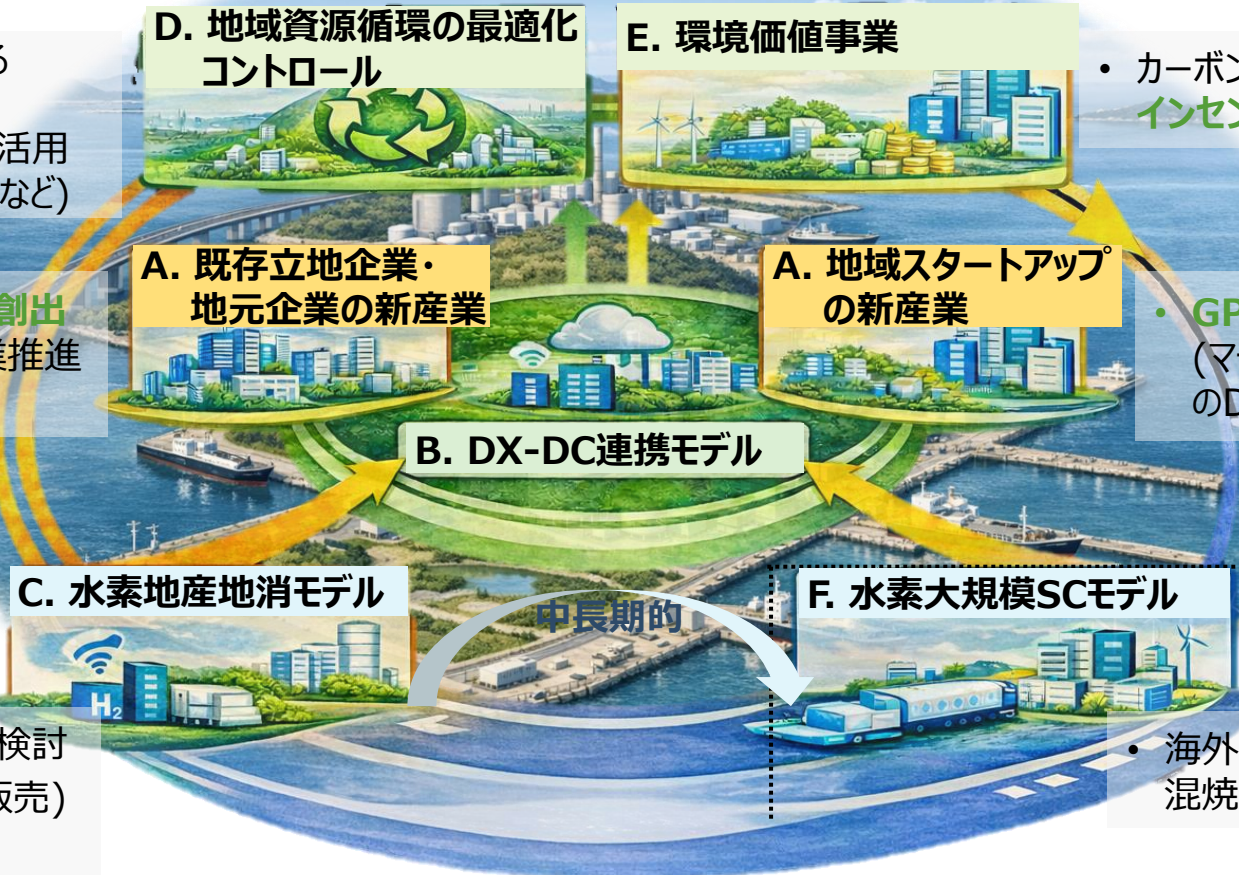
全体構想：地域インフラ整備
(給排水施設のパイプライン整備、
GXマテリアルリサーチパーク)

- 電力資源と計算資源の最適化による
ワットビット連携
- DC運営等に係る再エネ電力の積極活用
(ペロブスカイト太陽電池活用の検討など)

- カーボンのクレジット事業の
インセンティブを各事業へ還流

- GPU-データセンター/AI産業**
(マテリアルインフォマティクス等、国内外からのDC計算等受託)

- 海外調達/他港連携体制を構築し、火力LNG
混焼・メタネーション等での利活用を見込む



- ブラウンフィールドを活用した**新たな産業創出の担い手**や**既存立地企業**による新産業推進
(先端半導体向け材料製造など)

- LNGからの**ターコイズ水素製造**導入を検討
- 域内水素・固体炭素(カーボンブラック販売)の利活用によるCN達成を見込む